



ドッグランの開設、災害時の動物救護の場を！

小野 たづ子 議員 《公明党》

市民の方々から、平たんて広さがある芹沢公園にドッグランの開設が望まれています。ドッグランは、犬を自由に遊ばせることができ、犬の運動不足やストレス解消、社会性のために有益と言われており、一方では、飼い主を含め、犬のしつけやルール・マナー遵守が必要です。

れになり、過酷な環境で過ごしている動物も多い状況です。災害時、避難所にペットは持ち込める状況ではありません。ドッグランは、災害時の動物救護のためのサポートスペースにもなると考えます。ドッグランの開設、災害時における本市の動物救護についてのご所見を市長に伺います。

人とも動物との共生社会を目指し、公営・民営のドッグランも増加傾向で、行政が場所を提供し、NPO法人等が管理運営しているケースが多く、近隣では海老名市や綾瀬市、大和市でも開設されています。また、東日本大震災から2年、現在も飼い主と離ればな

場所等の課題があり、他市の事例などをもとにドッグランの検証を進めてまいりたいと考えます。動物救護についても大きな課題としてしっかりとみていかなければならないと認識しております。

通学路の安全点検は継続的に！

稲垣 敏治 議員 《公明党》

昨年4月23日、京都府亀岡市で軽自動車が集団登校中の児童の列に突っ込み児童等3人が死亡、7人が重軽傷を負う事故が起き、その後も各地で登下校時の児童が死傷する交通事故が相次ぎました。

必要があると指摘し、早急に通学路の調査点検を行い、危険箇所への速やかな対策を求め、要望書を提出しました。教育委員会は、PTA役員を含む小学校、道路課、安全防災課、座間警察署と合同で7月に市内54カ所の緊急点検を行いました。点検のみで終わらず、計画的に諸対策を図ることが重要と考え、今後の継続的な実施について教育長の見解を求めます。

は、通学路の安全対策プロジェクトチームを設置し、5月に文部科学大臣に通学路の安全対策緊急提言を行いました。この提言を受け国は、すべての公立小学校で緊急総合点検を実施するよう全国に通知しました。

現在では国民安全の日に合わせて隔年で施設と通学路を点検しており、新たな危険個所の発生時には、警察や道路管理者等と連携し対応してまいりたいと思います。

総点検に当たり座間市公明党も、6月22日に市長に通学路の安全対策をさらに強化す



福島県須賀川市と国内友好都市提携を

京免 康彦 議員 《新政いさま》

国内友好都市交流事業も6年目を迎えます。国内友好都市推進委員会では、本市にない魅力を持つ須賀川市との提携は、幅広い市民活動による息の長い交流が期待できるとしています。昨年大風まつりや市民ふるさとまつりに須賀川市の方にも来ていただき、また、本市からは、社会福祉協議会やボランティア推進協議会、観光協会や民間団体など、多くの市民が須賀川を何度か訪れ、視察や情報交換等を行っています。運命のいたずらか東日本大震災が被災し、そのときの支援の輪、思いやりなど、市民の交流が深まってきたかと思っております。

れば、お互いの信頼関係がある中、須賀川市とそろそろ国内友好都市として提携されてもよいと思います。これまでを振り返り、国内友好都市事業の総括と考えをお示しいただきたいと思っております。

相模が丘6-4多目的広場に隣接する用地は、福祉施設用地として620㎡が市へ寄贈されたものです。寄贈されてから10年以上、何らの対応がされぬままであることは、寄贈者に対していかがなものかと考えますし、地元住民は、市の姿勢に不信感を募らせているのも事実です。この用地の今後についてどのように考えているか伺います。

市が市制60周年を迎えますので、こうしたタイミングを前に向きに受け止め、今後、積極的なアクションをとっていく時期かと思っております。

未利用公用地の活用を

竹田 陽介 議員 《新政いさま》

時凍結したいという報告をさせていただきました。しかしながら、寄贈者の意思を尊重するために土地を有効活用していくことは絶対に必要なことかと思っております。

【再質問】計画を一時凍結ということでありますが、政策の見直しができるまでの間、一部の地域の方からは、公園に組み入れていただければという声もあります。その見解をお伺いします。

市が市制60周年を迎えますので、こうしたタイミングを前に向きに受け止め、今後、積極的なアクションをとっていく時期かと思っております。

市が市制60周年を迎えますので、こうしたタイミングを前に向きに受け止め、今後、積極的なアクションをとっていく時期かと思っております。

防の観点から何とか活用できないか検討してまいりました。国の大きな政策転換や財源の部分で見出し得ない状況があり、平成22年第一回定例会の保健福祉常任委員会で一

防の観点から何とか活用できないか検討してまいりました。国の大きな政策転換や財源の部分で見出し得ない状況があり、平成22年第一回定例会の保健福祉常任委員会で一



座間市ブランド化推進計画(仮称)の策定を提案！

荻原 健司 議員 《新政いさま》

本市には農業から工業、そして商業と魅力あふれる産業が多く存在しており、商店街と地域住民が協働で開催している朝市や地域ボランティアと商店街が協働で進める空き店舗対策等、枚挙にいとまがないほど市内各地で特色を活かした取り組みがなされています。農工商といった産業の連携、

産官民の連携を図り、本市のブランドイメージを確立し、その魅力を発信し、郷土愛を育むサイクルを構築することや、座間市といえどこんな街といった市の特色をさらに明確にするために「ざまりん」や産業連携等による魅力発信を戦略的に推進する「座間市ブランド化推進計画」を策定し、市内外へ発信していくべ

基地の返還を問う

中澤 邦雄 議員 《日本共産党》

キャンパス座間には、5年前に米陸軍第一軍団前方司令部が設置され、今年3月に陸上自衛隊中央即応集団司令部が移転し、基地の強化、恒久化が一段と高まりました。本市は歴代基地の返還、整備縮小を市是としてきており、市の総合計画でもその具体化を掲げているだけに、基地の返還、整備縮小にどのように取り組

むかが今問われています。政府は、本市の基地の負担軽減策として、市内に存在するキャンパス座間の内、8.7%、5.4ヘクタールの返還を約束しました。南関東防衛局は市との協議の中で「キャンパス座間内の米軍家族住宅の整備工事を今年10月30日までの工期で進めています。境界柵の設置及びユーティリテ



労働組合への市庁舎ただ貸しは既得権益ではないか

伊藤 優太 議員 《さま大志会》

労働組合への実質的な市庁舎ただ貸しは是正すべきです。市庁舎は減免使用が既得権益に当たるといふ答弁をされました。本市も構図は同じであり、既得権益に当たると考えます。また、労働組合の掲示板に特定の思想に関わるポスターが掲示されています。市庁舎内の掲示規定の有無と、その

ポスターの掲示は許可したのか伺います。総務部長 減免使用については、条例等に定め運用しており、既得権益云々の話ではありません。市庁舎内の掲示物に関する規定はありませんが、公序良俗に反するものなどは許可すべきでなく、そのポスターは許可していません。

労働組合への実質的な市庁舎ただ貸しは既得権益ではないか

労働組合への実質的な市庁舎ただ貸しは既得権益ではないか

きと考えますが、市長のご見をお伺いいたします。

市長 ソフト部分の核があればそれをコアとしてまちづくりを考えるという発想の転換も必要になってきていると思っております。街のイメージアップ、街の誇りとなるものを用意し、それに向け市民が誇りを持ち、それを中心にしながらさまざまな事業を企画立案し、実施していくことが、まさにブランド化の意味するところだと思っております。推進計画策定については、非常におもしろいアイデアだと思っております。

市の移設工事についても契約手続を進めており、平成25年度の早い時期に工事着手する予定で、新年度政府予算の中で返還に必要な施設整備の経費約49億円を計上していただきます」と説明したと言われています。その返還の時期は具体的にいつになるのか伺います。

特定政策推進室長

平成28年春の病院開業に支障がないよう、平成27年度中に実際の返還がなされるということをご期待しております。

市庁舎と同じであるのに、本市ではなぜ既得権益に当たらないのか再度伺います。そのポスターを勝手に労働組合が市庁舎に掲示したこととはとてもないことです。掲示物設置規定がなければ、基準を定めるよう要望します。

総務部長

目的外使用の許可は、長年貸しているという部分で既得権益があると感じています。掲示物の基準は必要と考え、よく精査してまいりたいと思います。そのポスターは撤去させました。